

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにしましょう。

※「単元のめあて」枠内の漢字に、ルビを振っている箇所があります。ひらがなと漢字の どちらを使うかは、

学習進度などを勘案して 指導者で判断して下さい。

(K…啓林館, G…学校図書, T…東京書籍)

学 年	単 元	単元のめあて と 授業のポイント
1 年	㊸ おおいほう すくないほう 同様単元 G2月⑰ T12月 どんな…	◎ 単元のめあて(板書例) ブロックや ずをつかい かずの くらべかたを かんがえて、はなそう。 ◎ 授業のポイント ・文章の問題について、文の区切りごとに 具体物を操作したり図を描いたりして 数量の関係を理解し、演算を決定して 式や計算のしかたを話すことができるようにする。また、式から 図や問題を書いたり話したり できるようにする。
	㊹ 大きさ くらべ (2) 同様単元 G11月⑬ T1月⑮	◎ 単元のめあて(板書例) ものの ひろさの くらべかたを かんがえて、はなそう。 ◎ 授業のポイント ・広さについて、直接比較→間接比較→任意単位の順に、必要感をもって比較する。 <直接比較→間接比較に進むには>直接比較ができにくい場面を扱う。 (例) 教卓と給食台等の広さを一方を模造紙に写し取るなどして比べる。 <間接比較→任意単位に進むには>間接比較ができにくい場面を扱う。 (例) 陣の広さをマス目で比べる。(間接比較で用いた模造紙等を使わない。)
	かえますか？ かえませんか？	◎ 単元のめあて(板書例) かえるか かえないか かんがえを はなそう。 ◎ 授業のポイント ・買い物などの数学的活動を通して、概数と見積もりの素地経験がもてるようにする。この学習は、4年下⑪「がい数とその計算」に発展する。 ・児童自身が自分の言葉で話した後、話した言葉をそろえるようにする。 (例) 児童自身の言葉； 「50 円は大きいので買えます。」 「48 円は 50 円より小さいので買えます。」 そろえる → 「48 円は 50 円より安いので買えます。」
もうすぐ 2年生		◎ 授業のポイント ・1つとびだけではなく、下記のような2とび5とび 10 とびの問題を扱うことが大切である。他の例を見て、□の中に入る数字を類推する力を伸ばすことができる。(何とびになるかをしっかり話し合うようにする。) 1820□2426□□3234 ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- 6065□75□□90□□ ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ・計算の習熟を図る。 ・数学的活動を通して 演算決定について話すことができるようにする。

2 年	下巻 ^⑰ 分数 同様単元 G12月 ^⑮ T2月 ^⑯	◎ 単元のめあて(板書例) $\frac{\text{おな}}{\text{めい}} = \frac{\text{おお}}{\text{わ}}$ ものを同じ大きさに分けたときの、大きさの あらわしかたを 考 えて、 せつ明しよう。 ◎ 授業のポイント - テープや色紙などの具体物を、2等分・4等分する等の操作を通して、元の大きさの半分として元の$\frac{1}{2}$の大きさ、半分の半分として元の$\frac{1}{4}$の大きさ等の分数の意味が実感できるようにする。 - 図に表して比べることで、元の大きさの$\frac{1}{2}$を2倍すると元の大きさに戻る($\frac{1}{3}$の3倍)など 倍と分数の関係が、理解できるようにする。 - お菓子12個の$\frac{1}{2}$は6個になり お菓子18個の$\frac{1}{2}$は9個になるなど、同じ分数でも元の大きさが変われば 1つ分の大きさも変わることが、理解できるようにする。
	下巻 よみとる 算数	◎ 授業のポイント - 必要な情報を取捨選択して、その数量関係を図や表を用いて整理し、問題が解決できるようにする。 - 学習指導要領で重視される知識技能の活用力を高める単元である。
	下巻 もうすぐ 3年生	◎ 授業のポイント - 長さの単位換算は、単元に戻って、きちんとできるようにする。 1cm=10mm から 1m=10cm という誤りがよく見られるので気を付ける。 36 を 4×9 とか 6×6 というように、1つの数を他の数の積として多様にとらえることが大切である。公約数や公倍数の学習に役立つ。 - 逆思考の問題は難しいので、子ども自身が場面を劇化したり学習具を並べてみたり、図(テープ図、情景図)を使ってみたりするなどの活動を通して、演算決定の説明ができるようにする。 【HP 教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」2年を参照】
3 年	下巻 そろばん 同様単元 G3月 ^⑰ T3月 そろばん	◎ 授業のポイント そろばんのしくみ(5珠)に着目し、指の使い方や 珠の運び方には あまりこだわらず、数の多様な見方を用いた計算のしかたを考えることが できるようにする。 $\begin{array}{lcl} 2+4 & \rightarrow & 2+\textcircled{5}-1 & 8-4 & \rightarrow & 8-\textcircled{5}+1 \\ 9+2 & \rightarrow & 9+\textcircled{10}-8 & 11-3 & \rightarrow & 11-\textcircled{10}+7 \end{array}$
	下巻 買えますか? 買えませんか?	◎ 単元のめあて(板書例) 買えるか 買えないかを考えて、せつ明しよう。 ◎ 授業のポイント 買い物などの数学的活動を通して、概数と見積りの素地経験が もてるようにする。そのため、数の大小を筋道立てて考え、問題を解いて 解き方が説明できるようにする。この学習は、4年下^⑪「がい数とその計算」に発展する。
	下巻 わくわく SDGs	◎ 授業のポイント - 必要な情報を取捨選択して、その数量関係を図や表を用いて整理し、問題が解決できるようにする。 - 学習指導要領で重視される知識技能の活用力や説明力を高める単元である。
	下巻 もうすぐ 4年生	◎ 授業のポイント - 上巻の教科書を持ってきて、自ら振り返りながら学習できるようにする。 - 単位換算は、各単元に戻ってきちんとできるようにする。 - 時間の計算について、定着を図るようにする。

4 年	下巻 わくわく SDGs	◎ 授業のポイント - 必要な情報を取捨選択して、その数量関係を図や表を用いて整理し、問題が解決できるようにする。 - 学習指導要領で重視される知識技能の活用力や説明力を高める単元である。
	下巻 もうすぐ 5年生	◎ 授業のポイント - 上巻の教科書を持ってきて、自ら振り返りながら学習できるようにする。 - 概数は、5・6年でも学習するので定着を図る。 - 児童自身が、文章の区切りごとに表の中に数値を記入して 数量関係を捉え、問題が解決できるようにする。 【HP 教育情報コーナー『文章題のめあてとまとめ 解決の道筋』『図のかき方と式』を参照】
5 年	⑱ 変わり方	2月号参照
	見方・ 考え方を 考えよう (3)	◎ 単元のめあて(板書例) ともな^{とも}なって変わる2つの数量を見つけ、<u>表に表して 変わり方のきまりを考え、</u> 問題を解いて説明しよう。 ◎ 授業のポイント 伴って変わる数量について、比例の関係や変化の決まりに気づき、問題解決やその説明に活用する。
	わくわく SDGs	◎ 授業のポイント - 必要な情報を取捨選択して、その数量関係を図や表を用いて整理し、問題が解決できるようにする。 - 学習指導要領で重視される知識技能の活用力や説明力を高める単元である。
	もうすぐ 6年生	◎ 授業のポイント 4年(上下)の教科書を持ってきて、児童自身が 振り返りながら学習できるようにする。 - 文章問題は、児童自身が 文章の区切りごとに数量関係を捉えて図に表し、解決できるようにする。 【HP 教育情報コーナー『文章題のめあてとまとめ 解決の道筋』『図のかき方と式』を参照】
6 年	6年の まとめ	2月号参照

<お知らせと お願い>

「算数教育ネットワーク岡山」でHPを検索して、毎月の「算数授業のめあてとポイント」や「算数教育情報コーナー」等をご覧いただき、日々の実践に役立てて下さい。

なお、これらについての ご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は、seiden_atmark_po.harenet.ne.jp までMail でお知らせ下さい。(atmark_を@に直して下さい。)